

事業の基礎情報

事業実施地域	宮城県富谷市
人材育成の対象	観光事業者、交通事業者、自治体職員、学生、富谷市民、他
人材育成の手法	データ取得・分析による課題の識別、それを踏まえた施策の検討をWS形式で行い、市の計画に落とし込むまでの一連の流れをOJT形式で体験する
人材育成の内容	データをもとに課題を正しく把握するスキル、解決に向けた議論のファシリテーションスキル・マインドを身につける
想定育成人数	約30名程度

取組の概要

(現状の地域課題と事業目的)

富谷市の人口は今後15年間増加する見込みであり、その中でも高齢者の増加が顕著である。これに伴い、市外への移動のみならず、市内の移動ニーズも高まることが想定されるが、現状は自動車による移動がほとんどで、コミュニティバスを走らせ課題解決を図っているが、全てのエリアを網羅しきれていない状況にある。打ち手は打ち続けているが、市内の移動環境向上が今なお求められている。また、利用者の減少に深刻な運転手不足も相まって、将来的な市内バス網の維持・改善も必要となってきている。このような地方自治体は日本全国でよく見る典型的事例となっている。こういった事例をベースとして、公共交通を学ぶことは非常に有益であり、行政や交通事業者、地域住民などを巻き込みながら、公共交通をコーディネートできる人材を育成することが可能となる。テーマは、基本的なことも含み交通DX(MaaS)・自家用有償旅客運送など、深掘した教育プログラムを提供する。

(事業の概要)

富谷市をはじめ、周辺の東北各地域でまちづくり(観光・交通)を担っている、交通事業者(継続事業のITSの卒業生)に加え、将来の街づくりを担う大学生を対象に、交通データ取得・分析の実践や施策の検討をWS形式で行う。具体的には、バスの乗降データや住民アンケート(特にバスを利用していない人へのアンケート)の取得、分析により、何が本質的な課題か議論する。また、富谷市役所と密に連携を取りながら、課題解決に向けた施策検討も同様の形式で行い、具体的な取り組みを富谷市の基本計画に重ね合わせて伴走する。この過程を通じて、データ(事実)をもとに課題を正しく把握するスキルや、その課題の解決に向けた議論をファシリテーションするためのマインドセット・スキルを習得する。先進的街づくりを行っている富谷市だからこそ実現可能な「交通人材育成」を実施する。

取組の詳細

(事業により見込まれる効果)

富谷市の地域事業者・関係者が実践するフィールドにて、課題解決に向けた議論をファシリテーションできる人材を30名輩出する。

- ・ 富谷市や市内で活動する交通事業者、将来的に地域の街づくりを担う大学生まで含めて人材育成を行う(宮城大・東北大連携)
- ・ 市外の事業者を含めて人材育成を行うことで、地域の公共交通を担うことができる人材を広域的に輩出する
- ・ 注力分野としては、MaaS・交通DXを中心とした比較的新しい領域を中心として構成する

本事業で検討した課題解決施策は実証事業としてその効果を検証する想定であり、机上の空論に留まらず、富谷市の目指す将来像実現のための一歩になる。また、市役所・法定協議会を側面的に支援することで、公共交通をリ・デザインするための仕組みも構築できる。

(事業実施手順・スケジュール)

	富谷市の交通課題調査	データ分析による課題仮説の検証	課題解決に向けた施策の検討	推進体制の構築
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富谷市における移動ニーズや交通を取り巻く現状などを調査し、地域公共交通の課題仮説を立案する ※市民の足の中心であるバスにフォーカスして調査する想定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バスの乗降データ(路線別、時間帯別、停留所別)や住民アンケートをもとに、左記で調査した課題の深掘りや妥当性を検証する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 識別した課題への対応策を複数回にわたるワークショップで検討するとともに、実行可能なレベルまで落とし込む ※ワークショップには宮城大学、東北大学の学識者や交通の専門家などを巻き込む想定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検討した課題解決施策の実証事業を行うための体制を整備するとともに、次年度以降も継続して人材育成を行うための体制を構築する
検討主体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 申請者および富谷市 	<ul style="list-style-type: none"> ・ WS参加者 ・ 申請者および富谷市 ・ 学識者・交通・街づくりの専門家 	<ul style="list-style-type: none"> ・ WS参加者 ・ 申請者および富谷市 ・ 学識者・交通・街づくりの専門家 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 申請者および富谷市

(補助事業実施後の予定)

本事業を通じて検討した交通課題については次年度以降、新たな課題解決手法を検討し、国土交通省の「共創モデル実証運行事業」を活用しつつ、富谷市が中心となって観光など他分野を絡めて実証実験を行うことを想定している。事業化に向けて、富谷市の地域商社やコミュニティバス運営企業が担う可能性に鑑み、本事業を通じて地域内体制を整えていく予定。また、本事業を通じて富谷市の法定協議会に向けたデータ提供も行う予定であり、交通課題を解決するための施策を継続的に検討する体制を行政側にも構築する予定。また、育成された受講生のフォローアップを行い、他自治体の交通ファシリテーターや交通行政と連携した活動を支援する。